

応援に関する注意事項

！内容は変更になることがあります。大会本部からの最新の通知を優先してください。

学校関係者(チアリーダー、応援リーダー、ブラスバンドを含む)をはじめ、学校応援団を構成する皆さんは1塁もしくは3塁アルプス席の学校応援団エリアに入場してください。アルプス席には他に一般観客向けの指定席エリアもあります。指定席エリアには、着席しないようご注意ください。学校応援団エリアは試合ごとに完全入れ替えとなります。当該校の試合終了後は速やかに退場してください。

ブラスバンドの入場可能人数に制限はありませんが、エリアは限定されます(39分・座席表参照)。

1. スタンドへの持ち込みや配布物

応援にあたってのブラスバンド楽器などの物品、応援用具を持ち込む際のルールについては28分の表を参照してください。持ち込めないものは球場規則に準じますが、危険なものや騒音を出すもの、観戦の妨げになるものは禁止です。奇をてらう所作や派手なパフォーマンスに頼らず、澁滞とした応援を期待します。

(1) ブラスバンドが使用する楽器の持ち込みは認めます。熱中症対策のため、数個程度のクーラーボックス(抱えられる程度の大きさ)の持ち込みも認めます。

次のものは、持ち込みを禁止、または制約があります。

- ① 鐘・笛、和太鼓(鼓・締太鼓)などブラスバンド以外の鳴り物は球場周辺への騒音防止や他の観戦者の安全確保のため禁止します。ただし、ブラスバンド用のドラム(太鼓)を応援団リーダーが使うことは問題ありません。応援団(野球部)が使う太鼓の持ち込みは1個まで。ブラスバンドが使用するドラムセット(スネアドラム)は別扱いとします。
- ② アンプ・スピーカーなどの音響装置は球場周辺への騒音となりますので禁止します。危険防止やスムーズな応援団入れ替えのため演台・指揮台の設置も禁止しています。
- ③ 紙テープ・紙吹雪・ジェット風船などはグラウンドやスタンドでゴミとなるので禁止します。
- ④ ぬいぐるみ・飾り物(大小を問わず)・置物類・着ぐるみ・垂れ幕・のぼり旗(桃太郎旗)・小旗などは観戦の妨げとなり、事故につながる危険性があり、持ち込みを禁止します。
- ⑤ 出場選手個人名や宣伝とみなされる企業名、贈り主名、商品名のついた用具などの使用は、日本学生野球憲章に抵触する商業活動とみなされるため、禁止しています。近年、選手個人名の書かれたタオルを掲げるケースが目立ちます。応援団責任者は応援席を見渡し、このようなことがないようにご注意ください。保護者等への通知や学校ホームページなどで、個人名の書かれたタオルを禁止する旨の広報を徹底してください。
- ⑥ 地元での催し物・特産物などPRに関する物品をはじめ、市の旗など自治体のPRに関する物品も禁止です。しゃもじ、鳴子を応援に使用する場合は、事前に日本高野連に申しご相談ください。使用を認める場合もあります。事前申告がない場合は、当日の持ち込みや使用はできません。
- ⑦ 応援パネルなど(人文字用)などは事前に日本高野連に申し、ご相談ください。使用を認める場合もあります。事前申告がない場合は、当日の持ち込みや使用はできません。
- ⑧ タオル・うちわ・メガホンなどの文言表記は「大会名・校名・校章・校歌・校訓」までとします。ただし、うちわに「必勝」程度の文言表記は可とします。なお、個人名や校名等が書かれた手作りうちわは、禁止します。うちわを持ち込む場合は大きさ、本数と図柄を

▽応援する際の持ち込み物品や用具規制▽

分類	使用品・アイテム	可否	備 考	
鳴	ブラスバンド楽器	○		
	ブラスバンド打楽器=ドラム・シンバル・木琴・鉄琴	○	演奏用のタンバリン・鈴・ティンパレスは○	
	ブラスバンド打楽器=ラテン系打楽器等	○	スティールパン・カウベル・コンガ・ボンゴ・マラカス・クラベス・ギロ等	
	音響装置=マイク・アンプ・スピーカー等	×		
	鐘、鉦、銅鑼、鈴など鳴り物の仏具、ハンドベル等	×		
	鈴=演奏以外の舞踊もの	×		
	笛=ホイッスル、法螺貝	×	指笛は○	
	鈴子木、カステネット、仏具の木魚(木魚)、算盤、竹ばち、ハリセン、クラッカー、ハンドクラッカー	×		
	和太鼓=鼓・締太鼓・団扇太鼓	×		
	爆竹・クラッカー・花火等火薬類	×		
物	しゃもじ(大きさ不問)、鳴子	△	大きさ・本数・図柄は日本高野連へ要相談	
	ブブゼラ(ブブセラ)	×		
	メガホン・Vメガホン	○	長さ60cm以上×、カラーコーン(パイロン)の転用×	
	エアスティック	○	個人・企業・商品名入り×	
	ハンドマイク(2台まで)	○	試合開始前・終了時の伝達に限定	
	グ	帽子・サンバイザー	○	
		応援用ボンボン	○	
		Tシャツ・ポロシャツ・学生服(学ラン)・ユニホーム等	○	個人・企業・商品名× 写真・イラスト・キャラクター入り×
		鉢巻き	○	個人・企業・商品名入り×
		法被・祭り装束	×	
タオル・手拭い=学校名入り		○	大きさはスポーツタオル、マフラータオル程度	
タオル・手拭い=個人・企業・商品名入り		×		
うちわ・扇子=学校名入り		○	大きさ・本数・図柄は日本高野連へ要相談	
うちわ・扇子=個人・企業・商品名入り		×		
紙テープ・紙吹雪		×		
ツ	紙風船・ゴム風船・ジェット風船	×		
	ろうそく・ペンライト・レーザー発射器具・鏡等	×	光・光線を発生し、反射する道具は×	
	雑	クーラーボックス(氷・飲料入り)	○	熱中症防止用で数個程度、アイスピック×
		飲料=ペットボトル(ダンボール箱入り)	○	中味が飲料以外は× 例)砂、ビーズ、金属玉、劇物
		製氷機・ウォーターサーバー・浄水器等	×	携帯用の霧吹き機、保冷剤は○
		ポリバケツ	○	熱中症防止用で数個程度、叩いての音出し×
		金属製バケツ、鍋、フライパン、皿(たらい)、洗面器等	×	鳴り物に転用される雑貨、雑品は×
		多用途ポリ容器(50ℓ以上)	×	
		ブラスバンド楽器ケース	×	OB分・友情応援学校分も×
		ブラスバンド用楽譜スタンド	○	
飲料等運搬用台車		○	前後2人で操作すること	
貨		ぬいぐるみ	×	
	着ぐるみ・郷土民俗変装着等	×		
	木像・塑造像・ダルマ・マネキン人形に類するもの	×	置物類×	
	千羽鶴	○	横断幕の場所に掲げること(注意事項「4」参照)	
	装飾用造花・生け花・飾り花・花輪等	×		
	顔や身体の一部へのシール、ペイント、マスク等の被り物	×		
	飾	演台、指揮台、踏み台、脚立、立て看板	×	
		応援団ボード(選手名用・指示用・ブラスバンド用)	○	大きさ=最大75cm×100cm
		人文字用パネルなど	△	個人名×、最大30cm×42.5cm、日本高野連へ要相談
	物	垂れ幕・のぼり旗(桃太郎旗等)・寄せ書き	×	
応援小旗(布・不織布・ビニール・その他素材)、はたき		×		
横断幕		○	指定場所以外×、1.2m×1.2m以内、自治体などはダメ	
応援団旗または校旗		○	アルプス席最上段で1旗のみ、教職員・交代要員を配置	
旗	大漁旗・万国旗・キャラクター旗類	×		
	旗類	×		

- (注意事項) 1. 選手個人名や宣伝とみなされる企業名、贈り主名、商品名入りの用具は球場への持ち込みはできません。
 2. 応援に関係のない物品等の持ち込みはできない場合があります。主催者、球場係員の指示に従ってください。
 3. 上記にない応援時に使用する物品や用具の持ち込みは日本高野連にご相談ください。
 4. 千羽鶴は自校のもの一つに限ります。横断幕のところに貼ってください。千羽鶴で文字や絵を表現したもののれん状にしたもの、額など枠に入っているものは持ち込みできません。また、選手個人名や寄せ書き等が付けられた千羽鶴も不可です。

日本高野連に事前申し相談してください。タオルの大きさは一般的なスポーツタオルやマフラータオル程度とします。

⑨Tシャツなど衣服の文言表記も上記⑧およびそれに準じる文言を原則とします。他の文言を使用する場合は日本高野連に事前申し、許可を得てください。個人名(複数であっても)や商業的な文言、写真やイラスト、キャラクターなどは避けてください。また、「必笑」などの造語や揶揄した言葉を表記することはできません。

(3) 応援団用に配布物がある場合

球場外周やスタンド内でのメガホンなど応援グッズの配布・回収は、事故やトラブルの原因になりますので禁止します。地元を出発するとき、もしくは応援団バスの中で配布してください。関西在住のOB会や県人会も同様です。アルプス席、球場から退場する際も、安全への配慮をお願いします。

(4) 応援生徒の水分補給

応援生徒や野球部員のほか、友情応援を含むブラスバンド、チアリーダーの水分補給には十分気をつけてください。試合途中で追加する場合は甲子園球場飲食・物販事務所(電話:0798-46-5047、ファクス:0798-47-6572)にご相談ください。ファクスによる事前予約が可能です。アルプス席まで届けてもらうことができます。申込書は代表校提出文書=様式をまとめたクリアファイルに同封されています。

(5) 応援用具の搬出入について

搬出入時に台車を使用することを認めます。ただし、球場の構造上動線に傾斜や段差がありますので事故防止のため、台車使用時は必ず2人(前後操作)で使用してください。

(6) 横断幕

横断幕は、1.2m×1.2m以内(複数枚掲示する場合も合計1.2m以内を厳守)で、アルプススタンド最上段から掲示してください(38番・球場案内図参照)。指定場所以外での使用は一切禁止です。

(7) 応援団旗または校旗の掲揚

応援団旗または校旗は1旗のみとし、アルプス席最上段の指定された場所に掲揚してください。旗手には教職員と交代要員をつけ、状況に応じて旗手を交代するなどの措置をとってください。特に剣先については、周囲の人に危険が及ばないように安全対策をお願いします。必要ないときは取り外してください。旗が大きく観戦の妨げになる場合や強風・雷など、主催者側で危険と判断した場合は掲揚を禁止することがあります。球場係員や主催者の指示に必ず従ってください。

(8) 応援団が使用するボード(ブラスバンド用、選手名用、応援団指示用)について

応援団ボードは最大で75cm×100cm程度とし、最多3枚まで。担当生徒の負担とならないよう工夫し、観戦の妨げにならないよう掲げる時間は必要最小限にしてください。場所はスタンド下段のみで、中段・上段・階段での使用は禁止します。観客の安全には細心の注意を払い、球場係員や主催者から指示があった場合はすみやかに従ってください。また、選手名を表示した面をグラウンドに向けないでください。応援リーダーがボードを持つての移動は禁止します。

(9) ハンドマイクの持ち込みと使用について

試合開始前と試合終了時に生徒や学校応援者に注意事項を伝達する場合に限り、ハンドマイクは2台まで使用を認めます。試合中の使用は禁止です。

2. 応援での注意やマナー

【応援での禁止行為】

- ・ 応援団員、応援生徒がバケツで水をかぶること
- ・ 応援団員、応援生徒が上半身裸になること
- ・ 座席、椅子に立っての応援やボードを掲出すること

(1) 基本的にアルプス席が学校の応援席

OB会や保護者会、地元の有志や関西在住の県人会、友情応援の学校などによる応援団も、学校応援団と同様に学校管理のもと、応援ルールの順守が求められます。アルプス席では一般の方も観戦していますので、自校への応援や席の移動を無理強いすることなく、トラブルのないようご注意ください。下段の広いスペースは緊急避難路です。立ち止まったり、ボードを掲げたり、荷物を置いたりしないでください。

(2) アルプス前方座席(39段・座席表の①②ブロック)の使用

〈イ〉前方座席でOBや県人会などのグループが飲酒したり、大声を出して騒いだりする事例があります。アルプス席の学校応援団席(一般観客向けの上段席は除く)は学校管理下にありますので、座席配置について学校側は把握してください。そのうえで、前方座席は関係者に着席してもらうなど工夫し、トラブルや混乱を未然に防ぐようお願いします。

〈ロ〉学校応援団の前方座席が空席になっている場合、アルプス席上段の指定席にいるべき一般観客が勝手に移動してきて、着席するケースが散見されます。学校関係者でないと思われる場合、すぐに球場係員か警備員に連絡してください。

(3) 試合中のファウルボール

過去にプラスバンドの生徒にファウルボールが当たり大けがをする事故がありました。主催者は大会期間中防護ネットをアルプス席の内野席側に増設し事故防止に努めていますが、学校側でも、プラスバンド部員を取り囲むように、グラブを持つ野球部員を配置するなど十分注意してください(39段・座席表参照)。配置するのは野球部員以外でもかまいません。必ず試合前からの配置をお願いします。

(4) マナーを守った節度ある応援

各地方大会、過去の甲子園大会では認められた応援の事柄が、今大会では不可になっている場合があります。今大会の「代表校・応援団の手引」をよく読んでください。

- ① 応援や演奏、太鼓の使用ができるのは「プレーボール」以降。ただし、入場後の音出し(調整)は可とします。
- ② 試合前のエール交換で太鼓は使用できませんが、校歌斉唱はできません。試合後のエール交換はできません。
- ③ プラスバンド演奏や太鼓を使っただけの応援は攻撃時のみ。開始は各イニングの先頭打者がアナウンスされてからとし、3アウトになった時点でやめてください。
- ④ 守備中の応援は座ったまま、拍手のみで。演奏や太鼓の使用、手拍子はできません。「がんばれ」などと集団で声を合わせる応援もできません。
- ⑤ 以下の場面(場合)では、演奏や太鼓を使っただけの応援はできません。
 - ・ 試合前のシートノック時で、場内アナウンスがある場面。音出しもできません。
 - ・ 先発メンバーの発表時、場内アナウンスがある場面。拍手は可です。音出しはできません。
 - ・ イニングの間。
 - ・ 球審による場内放送、選手のケガなどで試合が中断した場合。タイムがかかり、内野手がマウンドに集まった時は継続しても構いません。

- ・ 5回裏終了時から10分間のクーリングタイム中。この間は水分補給や休息に充ててください。
- ・ 始球式の場面。
- ・ 各校初戦時で2回表裏の攻撃開始時、それぞれの校歌が流れる場面。音出しもできません。斉唱や手拍子は構いません。
- ・ 試合終了後に勝利校の校旗が掲揚され、校歌が流れる場面。

⑥ 得点時などでのハイタッチや座席に上がる行為、一カ所に集まって盛り上がる行為、横に動いての応援は危険なため、禁止します。

⑦ ウェーブ行為、タオルやメガホンを振り回しての応援は守備側の選手に緊張感、威圧感を与えることがあります。一般観客が始めたとしても同調せずに自粛してください。

(5) 応援リーダーなどの服装

- ① 部活動の応援にふさわしいものになるよう、ご協力ください。チアリーダーを含め、派手な祭り装束やハッピー姿で指揮・応援することはできません。
- ② 応援リーダーは下段通路や中段通路で指揮してください。リーダーが動きながら応援をリードすることはできません。
- ③ チアリーダーは縦通路で応援してください。下段通路でチアリーダーがダンスや演技をすることは禁止します。また、盗撮防止のため、チアリーダーの配置には注意してください(39段・座席表参照)。

(6) プラスバンド

- ① 応援席のスペースは限られています。楽器収納ケースは、楽器搬送用バス(トラック)に残してください。また、応援者・野球部員などの荷物もできるだけバスに残してください。
- ② 球場周辺での応援団プラスバンドの練習や演奏行進は騒音防止のため厳禁です。
- ③ 大音量での演奏は球場周辺住民にとって騒音となることがあります。迷惑とならないよう、ご理解・協力願います。
- ④ プラスバンドの演奏は危険防止のため、必ず指定したプラスバンドエリアで行ってください。
- ⑤ 応援団(野球部)用の太鼓(1個)、プラスバンドのスネアドラムや太鼓は、プラスバンド席の下段に配置してください。太鼓類は全て、プラスバンド席の下段となります。緊急避難通路や座席に太鼓を置くことがないようにご注意ください。
- ⑥ プラスバンド部員が交代しながら演奏することは禁止します。
- ⑦ プラスバンド部員は座ったままで演奏し、楽器を左右に振っての演奏は禁止します。
- ⑧ プラスバンド席上段(38~41段)は空席にさせていただく場合があります。ご了承ください。

(7) 一般観客席とのトラブル防止

- ① アルプス席券は一般の来場者にも発売しています。指定席ですので前の試合が終了しても、観客は入れ替わりません。学校応援団は一般の来場者とトラブルになるようなことは避けてください。
- ② 盗撮や置き引きの被害、トラブルを防ぐため、チアリーダーやプラスバンド部員の周囲には学校、応援団関係者が着席してください。不審な人物を見かけたら自分たちから声かけせず、球場係員や警備員に連絡してください。内野席からアルプス席に向けて写真・動画を撮影する一般観客には「撮影はやめてください」などの文言を表示し、対策をとる学校もあります。また、内野席から離れた位置で演技するなど工夫してください。
- ③ 一般観客とトラブルになった場合は、応援団責任者もしくは学校関係者が対処してください。生徒が対応することにより、一層こじれるケースがあります。対応しかねる場合は、球場係員か警備員、もしくは大会本部にご相談ください。

④下段通路および階段は、応援に使用するとともに一般の通路でもあります。特に下段通路は報道関係者もおお大変混雑します。通行者の妨げにならないように十分気をつけてください。

3. 試合当日の応援の流れ

(1) スタンドの入退場は大変混雑します。危険防止のためにも係員の指示を必ず守ってください。学校応援団の入場門は、1塁側チームは1号門と24号門の間、3塁側チームは14号門と15号門の間にある入場門(アルプスと外野の境界通路)となります。第1試合の応援団は開門と同時に入場できますが、第2試合以降については前の試合の7回表を目安に係員の指示でプラスバンド、応援リーダー、チアリーダー、一般生徒の順に入場します。5回裏終了を目安に入場門に集合し、入場券を1人1枚ずつ持って入場してください。前の試合の進行状況により、試合終了後に入場となる場合もあります。

※第1日の開会式は混雑が予想されるため、第1試合については早めの入場をお願いすることがあります。

(2) 試合開始前のグラウンドスケジュールは以下のとおりです。応援を始める際の参考にしてください。

前の試合終了後 (分)	前試合の両校・アルプス席へあいさつ 自校選手入場(ウォーミングアップ)
5	後攻チーム・ノック(7分間)
12	先攻チーム・ノック(7分間) *この間に先発メンバー発表
19	グラウンド整備(散水含む) 選手がアルプス席へあいさつ
25~30	試合開始

※このスケジュールはあくまで目安です。前の試合が早く終わった場合や長引いた場合などは、この限りではありません。

(3) 応援は入れ替えの完了まで開始しないでください。例えば、プラスバンドが先に配置についたからといって、楽曲の演奏を開始してはいけません。ただし、音出し(調整)は構いません。入れ替えの完了は、学校を窓口とした応援参加者および一般で来場される応援者が着席し、落ち着いた時点となります。完了の目安は応援者数にもよりますが、通常は両校ノック終了あたりになります(前試合終了後から約20分)。入れ替えは係員の指示に従いすみやかに行ってください。

(4) 試合終了後は、入れ替えのため次試合の応援団にすみやかに席をお譲りください。
 (5) 応援団責任者は応援用具・横断幕など責任をもって撤収し、また忘れ物がないよう複数の教職員の目で確認してください。メガホンやポンポンをはじめ、パネル・ボード、千羽鶴、楽器や校旗の収納ケース、楽譜スタンドなど忘れ物がないよう撤収してください。持ち主が不明な忘れ物は大会終了後に処分します。弁当箱やペットボトルなどのゴミは持ち帰り、場内や球場周辺では絶対に捨てないでください。
 (6) 学校側は出発から帰校まで応援団の行動に責任を持ち、トラブル、事故がないよう配慮してください。

4. けが人・体調不良者が出た場合

- (1) スタンドでの応援中や入場前の待機中、応援団バス駐車場との往復途中に、けが人や熱中症などの体調不良者が出た場合、係員・警備員に一報し指示を受けてください。
- (2) 救急車を呼ぶ場合は大会本部より行います。自校で対応すると混乱し、救急車の到着や手当てが遅れるおそれがありますので、必ず係員・警備員に一報してください。
- (3) 救護室への搬送が必要な場合は、教職員か保護者が同行してください。
- (4) 搬送が難しいなど、症状によっては医師が出向きます。
- (5) 1塁側と3塁側のアルプススタンド近くの2階通路に長いすなどを備えた応援団用の休憩所を設けます。気分が悪くなった人など、一時的に休んでもらう場所ですが、医療対応はできません。スタンドに戻れないような症状の人は救護室で医師の処置を受けてください。

5. 写真・動画撮影について

- (1) 甲子園球場での選手権大会を観戦、応援する一般客や学校関係者(教職員・生徒・保護者・OBほか)などすべての観客は、個人で楽しむ目的に限り写真や動画の撮影をすることができます。写真や動画データは第三者に譲渡できません。
- (2) 上記1のすべての観客はグラウンド上のプレーや選手、応援団風景などを撮影した写真や動画をYou Tubeなどのウェブサイトやフェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINEなどのSNSに掲示、投稿することはできません。これは選手や学校応援団を含む観客らの肖像権をめぐる無用のトラブルを防ぐためです。もちろん出版物掲載(無代か有代か問わず)や写真、動画販売などの営業を目的とした撮影は禁止です。
- (3) 学校関係者が応援団風景などの写真を撮影し、自校ホームページのみに掲載することは認められます。動画撮影はできません。グラウンド上は個人が特定されず、プレーしていない場面の図柄の掲載を認めます。応援団風景、グラウンドそれぞれ掲載枚数は2~3枚程度とします。詳細は8月3日の応援団責任者会議、責任教師会議で説明します。写真や画像データの第三者への譲渡はできません。トラブルが起きた場合は学校の責任で対応してください。
- (4) 卒業アルバムや記念誌、会報(生徒会・OB会・PTAなど)、学校の資料保存用として、写真や動画の撮影を撮影業者が行う場合は認められます。責任教師にお渡しする「写真・動画撮影等の許可申請」(様式13)に記入の上、高野連事務局に申請してください。
- (5) 写真や動画を撮影される際は、スタンドでのグラウンドに向けてフラッシュを使用した撮影や三脚の使用はできません。また、撮影のためにみだりに座席を移動し、通路、危険な場所、グラウンド内で撮影するのは禁止です。
- (6) 新聞・雑誌、テレビなどの報道カメラマンは取材協定に則って取材、撮影しています。取材や撮影に影響しないよう、係員の指示に従ってください。

□提出…写真・動画撮影等の許可申請 様式13 必要時